

特定非営利活動法人
日本ウインドサーフィン協会
定期理事会議事録抜粋

実施日時 2020年9月16日 午後7時～
実施場所 協会事務所（GoogleMeetによる、リモート会議）

出席者 理事長 石原 智央
理事 岩田 俊彦／国枝 信哉／小菅 寧子／霜山 厚
鈴木 智彦／三澤 文良／宮崎 景／宮野 幹弘
事務局 由村 剛志／堀口 洋

議 事 録 抜 粋

- ◆強化本部 : 東京オリンピック代表選手へのサポートに関して
サポート用具の支払いについて、新型コロナの影響で滞っていたものの至急の処理を確認

- : 日本スポーツ振興センター（JSC）の支援事業について
ウインドサーフィンをベースとし、進めることが決定。
ウインドサーフィン協会のベーシック検定を採用し共通して技術の向上を図る予定

- ◆競技本部 : 大会の申請が徐々に増えている。
 - ・ 11月21.22日 <主催>津久井浜フリースタイル大会（プロツアー）
 - ・ 10月17.18日 <共催>Techno293 全日本選手権
 - ・ 10月10.11日 <共催>ウインドサーファークラス全日本選手権
 - ・ 11月21.23日 <共催>iQ FOIL 全日本選手権 など新型コロナウィルス対策の広報を徹底する

- : 学連の大会について
学生に関しては大学の判断が分かれているが、宿泊を伴う部活動については禁止の学校が多く大会の開催が難しくなっている。
- : その他
JSAFレースマネジメント委員会から、新たに出されたコロナ対策を踏まえた運営マニュアルが来ている。理事会ドライブ内にて共有

- : 2021-2024新ルールについて
WSFに関しては、RRSには、フリートレースのみ適用。その他はワールドセーリングの回答待ち、翻訳等の準備を進めている。
B級ジャッジ・レースオフィサーの新規講習会、更新講習はすべてリモートになる予定。受講条件についてはレースが実施できていないので運営経験などは緩和の方向で検討中

- ◆普及本部 : 選任について
空席となっていた普及本部長として今年度よりの国枝理事を任命する。（理事会全員一致）

- ◆事業本部 : プロツアー委員会
掛川スラロームの開催可否を検討中

- : ワールドカップ特別委員会
2021津久井浜WCに関して、新型コロナウィルスなどの影響により開催が危ぶまれる状況に

あるが、開催に向けて鋭意検討中

：国際委員会

10月開催のIQFOIL世界選手権などの海外の大会についてJSAF、JWAは渡航制限の方針で進めているが、個人で協会を通さずにエントリーできてしまっている。今後海外の大会に出場しようとする選手に対して、協会が把握できるよう方策を考える。

IQFOIL協会へのExecutive Committeeの立候補の件については立候補の要請もあったが今回は辞退。別の形で協会をサポートしていく

◆その他 : 川添新会長、小野監事、石原理事長の3者面談実施。
協会、業界の繁栄のための方針について共有

：水域別代表の選択について

総会で提案された水域代表の選任について、立候補者を募るべく人選して個別に交渉する。交渉については各理事にて対応（理事会後できるだけ早く動けるよう）

：会員を増やす方策

ある程度年齢の行った人たちを引き入れる。（体験会などのイベント、アンケート）
ウインドの良さを知ってもらうだけでなく協会登録することの価値をみいだす。

◆事務局 : 会員登録

・2020年8月末会員登録状況について

・2020年度学連（JUBF）登録状況について

・学連登録 9月17日時点で140名

20年度～8月までの会員更新率は67%と厳しい数字で推移している。

：財務

・2020年8月度収支報告について

：その他

役員名簿の整備を行う。フォーマットに各自情報を入力。